

2018年4月6日

各 位

会 社 名 株式会社大和証券グループ本社  
代表者名 執行役社長 中田誠司  
(コード番号 8601 東証・名証 (第1部))

## 大和証券グループ 中期経営計画 “Passion for the Best” 2020

大和証券グループは、この度、2018年度から2020年度までの3ヵ年計画であるグループ中期経営計画「“Passion for the Best” 2020」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては、添付の資料をご参照下さい。

以 上

お問い合わせ先：

大和証券グループ本社 広報部 鈴木・青山・大橋・桑原・上岡 (Tel.03-5555-1165)

PASSION  
FOR THE  
BEST

大和証券グループ 中期経営計画  
～“Passion for the Best”2020～

---

2018年4月6日  
大和証券グループ本社

# お客様の課題認識と当社グループのビジネスチャンス

## 日本の状況

- 少子高齢化の進展・人生100年時代の到来
- 個人金融資産保有の「二極化」進展
- 日本経済の成熟化

## アジアの躍進

- 人口増加と経済成長
- 富裕層・中間層の拡大
- アジアからのインバウンド需要の拡大

## テクノロジーの進展

- デジタル・トランスフォーメーションによる産業構造や就業構造の劇的変化
- 業務効率化・生産性向上（働き方改革）

## 社会変化に伴う「不確実性」の高まり

### 個人

#### 人生100年時代

- 長寿への対応  
⇒ 健康・介護・経済的問題
- 相続対策
- 老後のライフスタイル多様化

#### 格差・多様性拡大

- 終身雇用の崩壊
- 所得格差の拡大
- 情報発信・情報共有手段の多様化

ライフプランの  
重要性

ニーズの  
細分化

### 企業/国・地方

#### 経営環境の激変

- 国内市場の縮小
- デジタル・トランスフォーメーションへの対応
- 異業種間競争の激化
- グローバル競争の激化

#### 財政逼迫

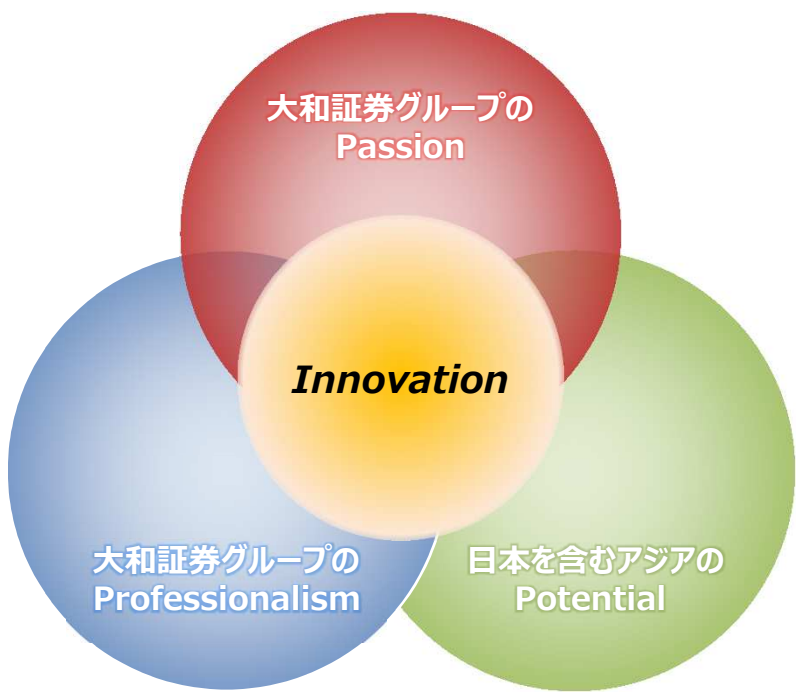
- 地域格差の拡大
- 社会保障負担の増加
- 老朽インフラへの投資  
⇒ 財政健全化困難

産業構造の  
変化への対応

グローバル競争力  
強化

社会課題解決型  
産業の育成

# 大和証券グループの目指す姿



## Passion

- 「金融・資本市場を通じて社会及び経済の発展に貢献」という高い志と使命感
- 企業理念「信頼の構築」・「人材の重視」・「社会への貢献」・「健全な利益の確保」の実現への情熱

## Professionalism

- クオリティNo.1の誠実さと高い専門能力
- ハイブリッド型総合証券グループへ向けた多様な事業ポートフォリオ

## Potential

- 人生100年時代の幕開け：運用ニーズ・資産承継ニーズの拡大
- デジタル化の進展による資産形成世代の運用ニーズの拡大と多様化
- アジアにおける産業化の進展と経済の急成長



**Innovation**

## “Passion for the Best” 2020

### 未来を創る、金融・資本市場のパイオニア

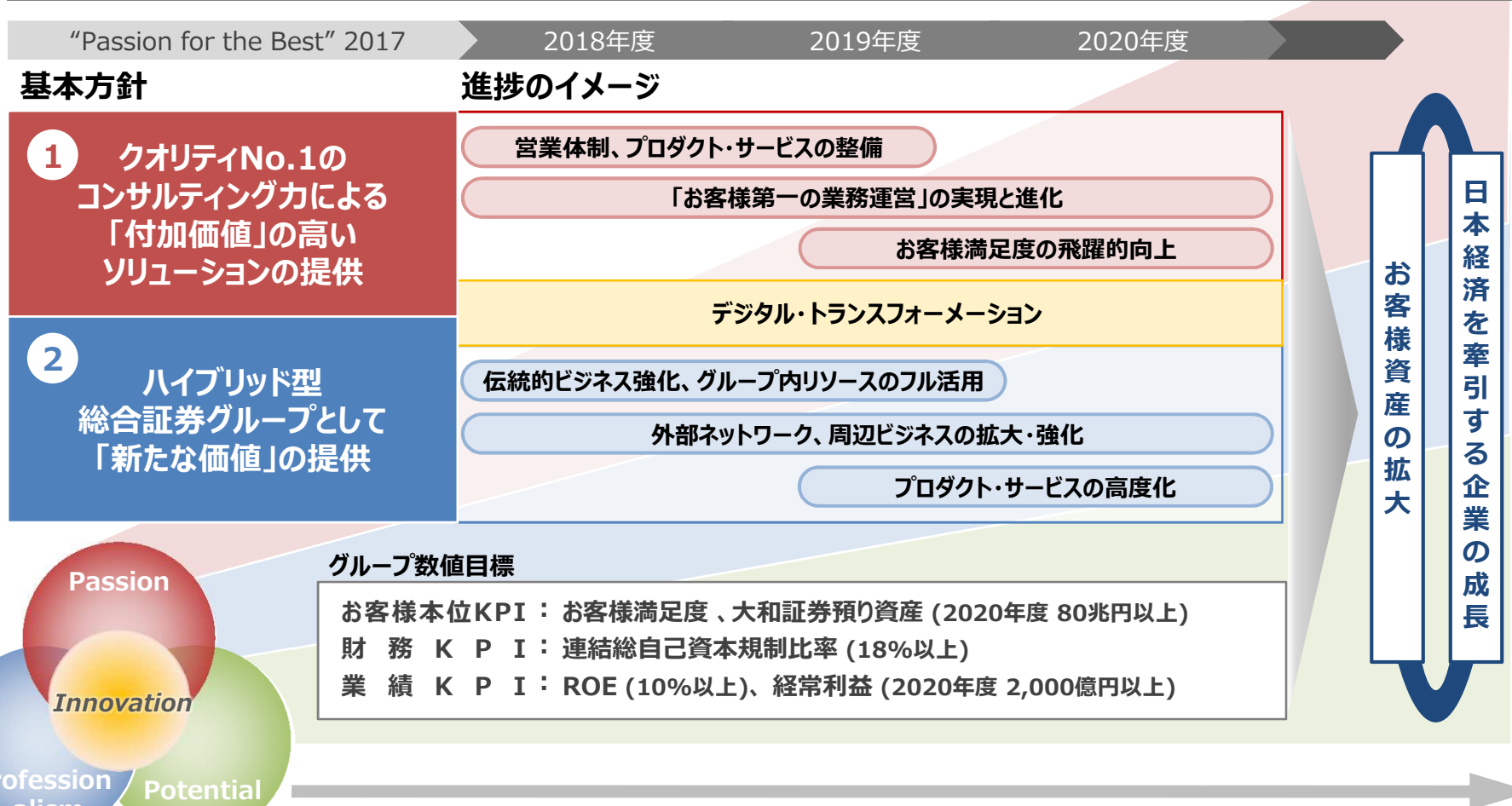
クオリティNo.1のコンサルティング力による「付加価値」の高いソリューションの提供

ハイブリッド型総合証券グループとして「新たな価値」の提供

※ハイブリッド型総合証券グループ：伝統的な証券ビジネスと多様化された事業ポートフォリオの融合

# 中期経営計画 “Passion for the Best” 2020 の骨子

## “Passion for the Best” 2020 未来を創る、金融・資本市場のパイオニア



# 基本方針と各ビジネスラインの主要テーマ

		リテール	ホールセール	アセット・ マネジメント	銀行	シンクタンク
基本方針	クオリティNo.1の 「付加価値」	お客様本位の 営業体制構築  お客様ニーズを捉えたプロダクト・サービスの提供	企業の高付加価値化 の促進	資産運用を通じた 豊かな社会・国民 生活の実現		未来へ導く 総合シンクタンク
	ハイブリッド型 総合証券としての 「新たな価値」	外部チャネル・リソース の活用、ニュービジネス ラインの創出 ↓ グループ各社との連携	事業構造や日本の 産業構造の転換の支援 ↓ 投資部門との連携	オルタナティブ 投資商品の拡大	証銀連携 ビジネスモデル 2.0	
金融手法の多様化×ビジネス領域の拡大による事業創造						
アジアの成長果実の提供とグローバルM&Aネットワークの強化						
グループ 基本戦略	<b>財務・資本</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>成長投資の実行</li> <li>資本効率性の向上</li> <li>財務健全性の堅持</li> <li>株主還元の強化</li> </ul>		<b>人事</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>社員の生産性No.1</li> <li>社員の活躍度No.1</li> <li>社員の働きがいNo.1</li> </ul>		<b>IT</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>業務プロセス改革・生産性向上</li> <li>次世代オフィスインフラ構築</li> <li>情報プラットフォーム構築</li> </ul>	
	<b>リスクマネジメント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル金融規制対応</li> <li>サイバーセキュリティ</li> <li>マネー・ローンダリング対策</li> </ul>		デジタル・トランスフォーメーション		ビジネス革新・生産性向上	

<戦略を支える土台> 透明性・客観性の高いガバナンス体制

# 財務・資本戦略

- 「健全な利益の確保を通じた持続的成長」の実現に向けて、「成長投資の実行」、「資本効率性の向上」、「財務健全性の堅持」、「株主還元の強化」のバランスを図ることで、全てのステークホルダーに配慮した財務戦略を実行

## 持続的な企業価値向上に向けた財務・資本戦略

### グループの中長期的な成長ビジョンを実現可能とする財務戦略

- 経営環境の変化に対応し得る健全な財務基盤の確立による成長投資のサポート
  - 証券ビジネスのお客様基盤拡大に向けた設備投資や人材育成
  - コアビジネスと親和性のある周辺領域に挑戦することを可能に



### 株主やその他のステークホルダーのための財務戦略

- 資本効率の改善と高い株主還元の実現
- 経営の持続性の明示
  - お客様からの信頼の獲得及び従業員への安心かつ充実した職場環境の提供
- 適時・正確な情報開示
  - 企業価値向上に資する経営の透明性の確保

### 社会に貢献する財務戦略

- 高い倫理観に基づいた適正な納税により社会の持続的発展に貢献

# デジタル・トランスフォーメーションの推進

- 「生産性向上」、「お客様サービスの高度化」、「革新的なサービスの開発」の実現に向けた、デジタル・トランスフォーメーションの推進体制を整備

## デジタル・トランスフォーメーションの目的

生産性向上

お客様サービスの高度化

革新的なサービスの開発

### ヒューマンスキルの深堀

クオリティNo.1のコンサルティング力による  
「付加価値」の高いソリューションの提供

### デジタルの活用

ハイブリッド型総合証券グループとして  
「新たな価値」の提供

## デジタル・トランスフォーメーション推進体制

組織

### ビジネス革新・生産性向上委員会

- 業務効率化による生産性向上
- 革新的な成果を創出するための時間を生み出す環境整備

### 金融イノベーション連絡会

- グループ横断的な情報共有・協業体制
- 運用高度化・業務効率化・マーケティングにおけるイノベーションの推進

### Fintertech株式会社

- 次世代金融サービスの創出に向けた新会社を設立
- 機動的かつ柔軟にデジタルイノベーションを推進

カルチャー  
の醸成

チャレンジ

デジタルマインド

スピード



# 2018年度 大和証券グループ経営方針

## ～Passion for the Best～

大和証券グループ本社  
執行役社長 中田 誠司

2017年度は、証券・金融市場における大きな転換点であった。グローバルな地政学リスクの高まりや不透明な政治情勢等の波乱要因はあったものの、日経平均株価は26年ぶりの高値水準まで回復した。2018年度は、引き続き各国の政策動向等、不確実性は認められるが企業業績見通しは最高益を更新するなど、わが国経済は好調に推移することが見込まれる。これまで20年に亘り続いたデフレがいよいよ終焉を迎え、「貯蓄から資産形成」への大規模なマネーシフトが起きる可能性が高まっている。

一方、少子高齢化・人生100年時代の到来やデジタル・トランスフォーメーションの進展による産業構造、就業構造の変革等、経営を取り巻く環境は劇的に変化している。

そのような中、2020年度までを対象期間とした新グループ中期経営計画～“Passion for the Best”2020～を策定した。「クオリティNo.1」のコンサルティング力による付加価値の高いソリューションの提供と、伝統的な証券ビジネスと多様な事業ポートフォリオとの融合による「ハイブリッド型総合証券グループ」としての新たな価値の提供を基本方針に掲げ、「未来を創る、金融・資本市場のパイオニア」を目指す。

初年度となる2018年度は、「お客様第一の業務運営」の深化、企業の成長戦略への支援、新たなビジネス領域の創出等をテーマに、各事業部門のアクションプランを着実に実行する。

大和証券グループは、社会的課題の解決に積極的に取り組み、経済的価値と社会的価値を同時に創造することで、豊かな社会・国民生活の実現に貢献していく。

### 各事業部門のアクションプラン

#### リテール部門

1. お客様満足に立脚した営業体制の構築
2. お客様のあらゆるニーズに応える、属性に応じた最適なサービス・ソリューションの提供
3. 安定収益基盤の持続的な拡大
4. 外部チャネル・外部リソースを活用したビジネス展開

#### アセット・マネジメント部門

1. 運用力の強化・向上によるお客様利益の追求
2. 幅広いお客様ニーズを捉えた商品開発力の強化
3. お客様の資産運用に資する商品拡充及び情報発信・サポート力の強化
4. 不動産を中心としたオルタナティブ投資商品の拡大

#### その他(大和総研グループ)

1. ハイブリッド型総合証券グループのシンクタンクとして、グループ連携によるビジネス強化へ貢献
2. 時代のニーズに応じた経済・金融を柱とする情報のタイムリーな発信
3. お客様のビジネスへ貢献する、競争力のあるソリューションをスピーディに提供
4. 先端技術の活用による「新たな価値」の創出を通じたビジネスの拡大

#### ホールセール部門

1. 企業の高付加価値化を促進
2. お客様ニーズを捉えたプロダクト・サービスの提供
3. 事業構造や日本の産業構造転換を支援
4. アジアのリージョナル・ブローカーとしての汎アジアビジネスサポート

#### 投資部門

1. 新規産業の発掘・育成によるファンド・エコシステムへの貢献
2. アジアへの投資拡大
3. 社会的意義のある投資対象の開拓
4. 運用力の更なる進化による投資リターンの追及

#### その他(大和ネクスト銀行)

1. 証銀連携による顧客本位の商品・サービス展開
2. グループ全体の将来的な収益基盤構築に向けた仕組み作り
3. 市場環境の変化に即応可能なポートフォリオ運営
4. 健全な利益の確保を通じた持続的成長